

テーマ 災害時の連絡手段

災害時の安否確認などは 「災害用伝言ダイヤル(171)」を活用！

災害発生時は、安否確認や問い合わせなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が続きます。

そんなときに役立つサービスがNTTの「災害用伝言ダイヤル(171)」です。これは、災害発生時にNTTがシステムを稼働し、家族間の安否確認や集合場所の連絡などに利用することができるものです。

日頃から家族みんなで使い方を確認し、活用できるようにしておきましょう。

伝言の登録・再生方法

- ①171にダイヤル
- ②ガイダンスに従って該当番号をダイヤル(録音は「1」、再生は「2」)
- ③【録音する方】自分の電話番号を(固定電話は市外局番から)ダイヤル
【再生する方】連絡を取りたい方の電話番号を(固定電話は市外局番から)ダイヤル
- ④伝言を録音・再生することができます。

171



サービス内容

- ・伝言録音時間：1伝言当たり30秒以内
- ・伝言保存期間：サービス提供期間終了まで
- ・伝言蓄積件数：電話番号当たり1～20伝言まで
(実際の件数はサービス提供時にお知らせ)

体験版の利用可能期間

- ・毎月1日と15日(0時～24時)
- ・1月1日～1月3日(0時～24時)
- ・防災週間(8月30日9時～9月5日17時)
- ・防災とボランティア週間(1月15日9時～1月21日17時)

災害用伝言板(Web171)／携帯電話各社の災害用伝言板

インターネットを利用して、携帯電話やスマートフォンから伝言を文字で登録することで、安否を確認できるサービスです。NTTが開設する災害用伝言板(Web171)は災害用伝言ダイヤルと連携しています。また、携帯電話各社が開設する災害用伝言板もありますので、確認しておきましょう。



▲災害用伝言サービス
について(総務省)

増水した川・用水路に近づかないで！



雨が多くなる6月～10月は「出水期」と呼ばれ、川や用水路の水位が急激に上昇しやすい時期です。特に夏休み中は子どもたちが水辺に近づく機会が増えるため、十分な注意が必要です。

●万が一のために

- ・川遊びや釣りはライフジャケットを着用し、必ず大人と行いましょう。
- ・水難事故を見かけたらすぐに119番・110番へ通報し、自分では川に飛び込まないでください。



Jアラート全国一斉 情報伝達試験(第2回)を 実施します

▶試験実施日時

8月26日⑥ 午前11時

防災行政無線のテスト放送では、緊急情報として配信されるため、緊急放送ランプとライトが点灯し、自動的に最大音量となりますのでご注意ください。



▶防災情報メール

二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録してください。

touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp



▶幕別町LINE公式アカウント

二次元コードを読み込み、「友だちに追加」で登録してください。

ID検索はコチラ⇒⇒⇒@makubetsu